

平成24年度 森プロ事業実績：朝霧の森プロジェクト

(平成25年3月末現在)

		H21～23年度		H24年度			5カ年	
		計画	実績	計画	実績	達成率	備考	計画
集約化(ha)		584	302	0	2	—		584
作業道(m)		7,000	3,822	3,000	0	0%		11,000
間伐等	面積(ha)	405	193	86	23	27%	利用+切捨	490
	材積(m3)	8,000	5,397	3,270	1,001	31%		14,540
備考		【団地外実績】 内訳：利用間伐 223ha(うち国有林約56ha)、皆伐面積 23ha、 搬出材積 21,344m3(うち国有林7,464m3、うち管外5,251m3)、作業道開設 5,396m						

H24年度利用間伐等における所有者への還元額(補助金含む)

3,549 円/m3

施業集約化の状況

- ・ 集約化計画区域の集約化が完了。
- ・ 隣接する次の集約化団地において、森林経営計画の策定に取り組んだ。

施業プランの活用状況

- ・ 森林所有者に対して提案書を作成し施業を行い、提案書どおりに還元することが出来た。

施業プランナーの養成状況

- ・ 県研修を1名が受講し、プランナー認定を受けた。
- ・ 在籍プランナー
国認定 1名
県認定 2名



作業道の状況

- ・ 森プロ団地内での作業道開設はH22年度で終了したが、隣接する次の集約化団地において森プロの成果を生かし作業道を開設することが出来た。



作業システムの状況

- ・作業道開設 → 伐倒 → 造材 → 積込 → 搬出
バックホウ → チェーンソー → ハーベスタ → グラップル → フォワーダ
- ・既設道等 → 伐倒 → 造材 → 積込 → 搬出
チェーンソーorハーベスタ → ハーベスタ → グラップル → トラック



その他

- ・スイス林業及び近自然森づくり現地研修会を森プロ団地内にて実施し広葉樹施業について学んだ。



森プロの成果

- ・ 路網整備と高性能林業機械を活用した素材生産作業の低コスト化により、実際に利益還元することで、森林所有者が山に関心を持っていただけるようになった。
- ・ 森プロを通じ、今後他地域でも計画される集約化施業への理解が一層深り、神岡町林業研究クラブの現場視察があった。
- ・ 各種研修会の開催によって間伐の必要性が一般の方にも理解されるようになった。
- ・ 組合独自の中間土場を設置してシステム販売を行うことで、価格の安定と輸送コストの削減に繋がり、森林所有者に利益還元を図ることができた。
- ・ ひだ森林整備協同組合へ森プロ以外の集約化団地2箇所の作業道開設と森林整備事業をセットで発注できるまでになり、飛騨市における林建協働の取り組みが昨年度よりも質的・量的に進んだ。



今後の課題

- ・ 森林資源調査の方法と作業道の線形計画について、プロジェクトのスタッフ全員が共通認識を持って取り組むこと(特にプランナーの現場設計能力の向上が喫緊の課題)。
- ・ 降雪期までに現場が完了できるように現実的な事業計画と進捗管理を行うこと。
- ・ 実践的な施業プランを作成し、運用していくこと。
- ・ 作業道開設のオペレータをさらに養成し、路網整備を先行させること(林建協働の取組も含めて)。
- ・ 5カ年の取組を総括して次の取組に活かしていくこと。